



- ご注意: ①連結させてフラッシュパターンを同期する場合、同一機種同士で使用してください。  
 ②同期させる場合、各本体を同期可能パターンの中の同じパターンに合わせてから、同期線(青色線)を接続してください。ただし、本体間の接続コード長は2m以内としてください。  
 ③使用していないコードの端末及び、結線は、自己融着テープなどで確実に絶縁・防水処理を行ってください。